

2020年3月16日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&D Jリートファンド限定追加型 1402」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「T&D Jリートファンド限定追加型 1402」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2020年 3月13日 基準価額(円)	2020年 3月16日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T&D Jリートファンド限定追加型 1402	10,124	9,134	▲990	▲9.78

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020年3月12日	2020年3月13日	騰落率 (%)
東証 REIT 指数	1,783.50	1,596.30	▲10.50

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、3月12日と3月13日を比較しています。

出所:東京証券取引所、ブルームバーグ

◆足許の状況

足許のJリート市場は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に与える悪影響を懸念した投資家のリスク回避的な動きを受けて、軟調な相場展開となっています。トランプ米大統領より発表された英国を除く欧州から米国への入国禁止措置が航空会社をはじめとした欧米諸国の経済活動の停滞懸念に繋がるとして海外株式市場が大きく下落した流れに加えて、東京五輪の開催延期観測の台頭を背景に国内景気の減速懸念の高まりなどから国内株式市場が全面安の展開となり、2020年3月13日のJリート市場も大きく下落しました。

このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比 5%を超えて下落しました。

◆今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は不動産賃貸市場に直ちに及ぶものではないと見ています。また、リーマンショック時のような金融危機的な状況でもないことから、資金調達金利の上昇にも至っておらず、Jリーートの収益環境に大きな変化はないと考えています。

新型コロナウイルスの感染拡大に終息の兆しが見えない中、Jリート市場は当面値動きの大きい相場展開が続くと予想されます。しかしながら、中国をはじめ各国で感染拡大の影響を受けている産業や企業に対する支援策が発表されており、中央銀行も金融面での支援を表明しています。各国政府による対応策によって新型コロナウイルスの感染拡大に終息の目処が立つことや、財政政策など景気下支えを目的とした早急な対策が取られることにより、金融市場は健全さを取り戻し、売られ過ぎ感のあるJリート市場は値を戻していくと見ています。

以上

* 東証 REIT 指数は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の1.00% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。